

# PPG SIGMADUR™ 550 H

## 説明

2液性 脂肪族アクリルポリウレタン ハイソリッド(高固形物) ハイビルド(厚膜型) フィニッシュ(上塗) 塗料

## 特長

- 大気暴露環境下において耐久性に優れている
- 色相と光沢の保持力に優れている
- -5°C (23°F) まで硬化可能
- 鉱油、植物油、パラフィン、脂肪族石油製品、及び低級化学薬品への耐性
- 長期間の大気暴露後でも重ね塗り可能
- エアレス、ブラシ、及びローラーによる塗装作業に優れている
- 1度塗りに対して150 µm (6.0 mils) までの厚膜化が可能
- 金属に直接塗装が可能
- PPG 866M ACCELERATOR を使用すると、乾燥時間と硬化時間を大幅に短縮することが可能

## 色相及び光沢

- 標準色及び調色対応
- グロス (ツヤ有り)

## 基本データ 20°C (68°F)

混合物のデータ	
構成	2液性
密度	1.5 kg/l (12.5 lb/US gal)
固形分 (容量)	70 ± 2%
VOC (供給時)	Directive 2010/75/EU, SED: 最大 220.0 g/kg 238.0 g/ltr (2.0 lb/USgal): EPA Method 24
推奨膜厚	50 - 150 µm (2.0 - 6.0 mils) 塗装仕様による
理論塗布量	14.0 m²/l - 50 µm (561 ft²/US gal - 2.0 mils) 9.3 m²/l - 75 µm (374 ft²/US gal - 3.0 mils)
塗装インターバル	最短: 8 時間 最長: 無制限
貯蔵安定期間	基剤: 36 ヶ月 (乾燥した冷暗所にて保管した場合) 硬化剤: 24 ヶ月 (乾燥した冷暗所にて保管した場合)

## 注意点:

- 追加データ参照 - 塗布量及び膜厚
- 追加データ参照 - 塗装インターバル
- 追加データ参照 - 硬化時間

# PPG SIGMADUR™ 550 H

## 推奨素地調整 及び 被塗面温度

### 被塗面状態

- 鋼鉄はISO-Sa2½プラスト処理、プラスト側面は40 - 70 µm (1.6 - 2.8 mils)、またはISO-St3 パワーツールで清浄であること
- 適合する被塗面は乾燥し異物の付着がなく清浄であること。

## 被塗面温度及び塗装条件

- 塗装中及び硬化中の被塗面温度は少なくとも露点より 3°C (5°F) 以上高いこと。
- 塗装中及び硬化中の被塗面温度は-5°C ( 23°F ) まで可能である; 被塗面が凍結なく乾燥していること
- 塗装中及び硬化中の相対湿度は85%を超えないこと。
- 凝結や雨への早期暴露により色相と光沢が変化する場合がある

## 使用上の注意

### 混合比(容量): 基剤 : 硬化剤 = 87:13 (6.69:1)

- 適切な塗装性のため、必要以上に希釈しないこと
- 過剰なシンナーの添加は塗料のタルミ性の低下を引き起こす。
- シンナーは基剤と硬化剤の混合・攪拌後に添加すること。

## エアスプレー塗装

### 希釈シンナー

THINNER 21-06

### 希釈率

10 - 15%、規定膜厚や塗装条件による

### チップサイズ

1.0 - 1.5 mm (約 0.040 - 0.060 in)

### 2次圧

0.3 - 0.4 MPa (約 3 - 4 bar; 44 - 58 p.s.i.)

# PPG SIGMADUR™ 550 H

## エアレススプレー塗装

希釈シンナー

THINNER 21-06

希釈率

0 - 10%、規定膜厚や塗装条件による

チップサイズ

約 0.43 – 0.48 mm (0.017 – 0.019 in)

2次圧

20.0 MPa (約 200 bar; 2901 p.s.i.) 注意点:

---

## 刷毛/ローラー塗装

希釈シンナー

THINNER 21-06

希釈率

0 – 5%

---

## 洗浄用シンナー

- THINNER 90-53
- 

## 追加データ

塗布量及び膜厚	
DFT	理論塗布量
50 µm (2.0 mils)	14.0 m <sup>2</sup> /l (561 ft <sup>2</sup> /US gal)
75 µm (3.0 mils)	9.3 m <sup>2</sup> /l (374 ft <sup>2</sup> /US gal)
100 µm (4.0 mils)	7.0 m <sup>2</sup> /l (281 ft <sup>2</sup> /US gal)
150 µm (6.0 mils)	4.7 m <sup>2</sup> /l (187 ft <sup>2</sup> /US gal)

---

# PPG SIGMADUR™ 550 H

## 膜厚150 µm (6.0 mils) での塗装インターバル

重ね塗り塗料	インターバル	-5°C (23°F)	0°C (32°F)	10°C (50°F)	20°C (68°F)	30°C (86°F)	40°C (104°F)
同塗料	最短 最長	36 時間 無制限	24 時間 無制限	16 時間 無制限	8 時間 無制限	4 時間 無制限	2 時間 無制限

## PPG 866M ACCELERATOR による DFT up to 150 µm (6.0 mils) までの塗装インターバル

重ね塗り塗料	インターバル	-5°C (23°F)	0°C (32°F)	10°C (50°F)	20°C (68°F)	30°C (86°F)	40°C (104°F)
同塗料	最短 最長	28 時間 無制限	20 時間 無制限	12 時間 無制限	6 時間 無制限	3 時間 無制限	1.5 時間 無制限

### 注意点:

- 表面は乾燥していて、汚染がない状態

## 膜厚150 µm (6.0 mils) での硬化時間

被塗面温度	指触乾燥	ハンドリング可能	完全硬化
-5°C (23°F)	24 時間	40 時間	22 日
0°C (32°F)	15 時間	30 時間	18 日
10°C (50°F)	5 時間	20 時間	10 日
20°C (68°F)	3 時間	12 時間	7 日
30°C (86°F)	2 時間	6 時間	4 日
40°C (104°F)	1 時間	3 時間	3 日

# PPG SIGMADUR™ 550 H

## PPG 866M ACCELERATOR による DFT up to 150 µm (6.0 mils) までの硬化時間

被塗面温度	指触乾燥	ハンドリング可能	完全硬化
-5°C (23°F)	21 時間	32 時間	18 日
0°C (32°F)	12 時間	24 時間	15 日
10°C (50°F)	4 時間	15 時間	8 日
20°C (68°F)	2 時間	8 時間	6 日
30°C (86°F)	1.5 時間	4 時間	3 日
40°C (104°F)	1 時間	2 時間	48 時間

注意点:

- 塗装中及び硬化中は適切な換気を維持すること
- 凝結や雨への早期暴露により色相と光沢が変化する場合がある

## 可使時間 (塗装可能粘度)

混合塗料温度	可使時間
10°C (50°F)	4 時間
20°C (68°F)	2.5 時間
30°C (86°F)	1.5 時間
40°C (104°F)	1 時間

注意点:

- この製品と PPG 866M ACCELERATOR を混合しても可使時間には影響しません。

## 安全予防策

- 安全性と予防措置の要件については、安全データシートと製品ラベルを参照してください。
- 本製品は溶剤型塗料のため、スプレーミストや蒸気の吸引、塗料の皮膚、眼への接触に注意すること。
- ポリイソシアネート硬化剤が含まれています。

## ワールドワイド対応

PPG Protective & Marine Coatings (PPGプロテクティブ&マリン コーティングス) は、常に世界中どこでも同じ製品を供給することを目標としています。しかしながら、地域や国内の法規/状況を順守するにあたって、製品の微調整が必要となる場合があります。その場合は、代替の製品データシートが使用されます。

# PPG SIGMADUR™ 550 H

## 参照

- Information sheet | Explanation of product data sheets

## 保証

PPGは、(i) 製品の所有権、(ii) 製品の品質が、製造時点において PPGが定める製品仕様に準拠していること、ならびに (iii) 製品は第三者のいずれの米国特許権も侵害していないことを保証します。これはPPGによる唯一の保証であり、商品性、特定用途および目的への適合性、非侵害性、権原、または制定法あるいはそれ以外の法律、もしくは取引の過程、履行の過程、慣習法、または取引慣行により生じる保証をはじめとして、明示または默示を問わず、あらゆる類の保証も行わず、または明示的に責任を排除します。本保証に基づくいかなる請求も、購買者が当該欠陥や不具合を発見してから5日以内にPPGに対して書面にて行うものとし、また製品に適用される保管期間、あるいは購買者または購買者が指定する配達先に商品が届けられた日から起算して1年のいずれか早い方が過ぎていないことを前提とします。購買者が本規定に適合しないことをPPGに通知しなかった場合、購買者は本保証に基づく担保責任の追及をすることはできません。

## 賠償責任の制限

PPGは、いがなる場合も、製品の使用に関連または起因する、あるいは結果としての間接的、特別的、付随的、派生的な（過失、厳格責任、不法行為のいずれを原則とするかに関係なく）損害回復の理論に基づく一切の責任を負わないものとします。本書の情報はガイダンスのみを目的に作られたものであり、PPGが信頼に値すると考える臨床実験を基にしたものであります。PPGは、実地経験および継続的な製品開発の結果として、いつでも本書記載の情報を修正することができます。PPG製品の使用に関する推奨や示唆は、それらが技術文書内で用いられているかどうか、あるいは特定の問い合わせに対する回答が関わらず、PPGが知り得る限りにおいて信頼できるデータに基づくものとします。製品および関連する情報は、当該産業における必須知識および技能を有するユーザーを対象としており、製品が個々の特定利用に適しているかどうかの判断は、ユーザーの単独責任であり、購買者は独自の裁量権とリスク引受けにおいて行うものと見なされます。PPGは、基質の品質または状態、あるいは製品の使用や用途に影響を及ぼしうる数多くの要素については管轄外であり、(契約書に明記されている場合を除き)本情報の使用や内容に起因する損失、被害、損害の責任を一切負わないものとします。適用する環境の変化、使用手順の変更、データの補完に伴い、不十分な結果がもたらされる場合がありますが、本書は先行するあらゆるバージョンに優先し、製品の使用に先立って、本情報が現行のものであるかの確認は購買者の責任とします。すべての PPG Protective & Marine Coatings Products ( PPGプロテクティブ&マリン コatings 製品 ) の最新データシートは、[www.ppgpmc.com](http://www.ppgpmc.com)にて閲覧可能です。また本書の英語版は他の翻訳版に優先するものとします。